

九州におけるリュウキュウアカマエアツバの発見

山 元 大 輔

東京都三鷹市井之頭 1-4-15

吉 本 浩

東京都田無市芝久保町 3-27-3

Discovery of *Simplicia ryukyuensis* Sugi from Kyushu
(Lepidoptera: Noctuidae; Herminiinae)

DAISUKE YAMAMOTO AND HIROSHI YOSHIMOTO

日本蛾類学会会員の徳永隆平氏は、1971年8月18~22日にかけて、鹿児島県の指宿及び喜界島を旅行され、その時採集された鱗翅目昆虫のうち、シャクガ科を除いて筆者らに恵与された。その採集品中に小型の *Simplicia* 1♂が含まれているのに気づき、筆者らが調査した結果、それが日本本土から未記録の *S. ryukyuensis* Sugi リュウキュウアカマエアツバであることが判明したので、ここに報告する。

本稿を草するに当たり、日頃から種々御教示いただいている春田俊郎、杉繁郎両先生、ならびに貴重な標本を恵与下さった徳永隆平氏に対し感謝の意を表する。

Simplicia ryukyuensis Sugi リュウキュウアカマエアツバは、Sugi (1965) によって、奄美列島徳之島のヤガ23種が記録された際、*Leucania inouei* Sugi, *Simplicia pseudoniphona* Sugi とともに新種として記載されたものである。この報文によって、日本には互いによく似た *Simplicia* 属の蛾が4種産することが明らかにされ、そのうち、*S. niphona* Butler オオアカマエアツバ、*S. pseudoniphona* Sugi ニセアカマエアツバおよび *S. rectalis* Eversmann アカマエアツバの3種が本土から記録されている。しかし、リュウキュウアカマエアツバは、原記載で記録された奄美大島、徳之島、沖縄本島、宮古島、南大東島以外からは知られていなかったものである (fig. 1)。

今回、徳永氏が持ち帰られたヤガの中に、1971年8月18日に採集された鹿児島県指宿産の本種1♂を見出すことができた訳であるが、これは外見・交尾器ともに、杉の記載に完全に一致する。本種はまだ一度も図示されたこ

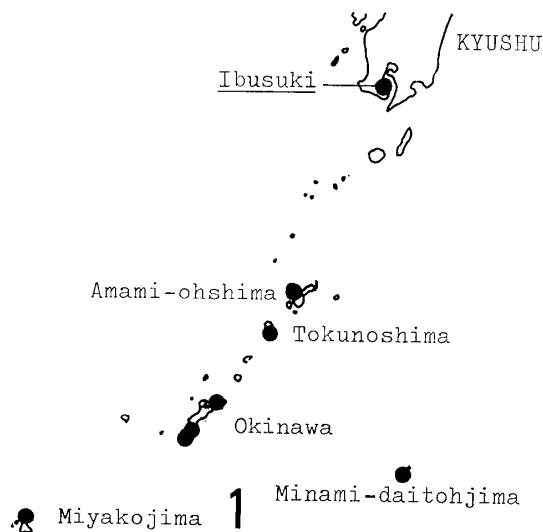


Fig. 1. A map showing the distribution of *Simplicia ryukyuensis* Sugi in Japan.

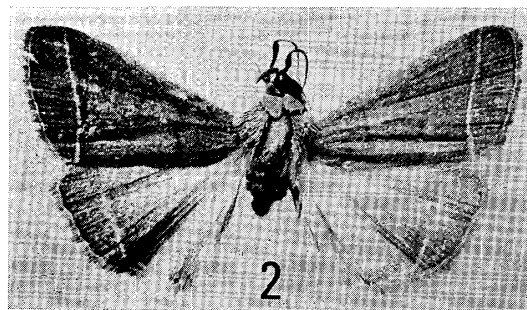


Fig. 2. *Simplicia ryukyuensis* Sugi, ♂, from Ibusuki, Kagoshima Prefecture, Kyushu.

とがないので、この機会に写真を掲出しておく (fig. 2).

本種がはたして鹿児島県南部に土着するものなのか、あるいは偶然南方より飛来したものなのかは、今後の分布調査によって明らかにされねばならないが、採集された個体は極めて新鮮であるから、同地で発生している可能性が強い。

最後にデータを再記しておく。

1 ♂. 鹿児島県指宿, 18. viii. 1971, 徳永隆平採集 (山元大輔所蔵).

参 考 文 献

Sugi, S. (1965) The Noctuidae from Tokunoshima, the Amami Islands (Lepidoptera). *Kontyû* 33: 365-371.

Summary

A male specimen of *Simplicia ryukyuensis* Sugi was captured at Ibusuki, Kyushu, on August 18th, 1971 by Mr. R. Tokunaga. This species has been known only from Amami Islands and the Ryukyus (Amami-ohshima, Tokunoshima, Okinawa, Miyakojima and Mimami-daitohjima), and this is the northernmost record of capture.